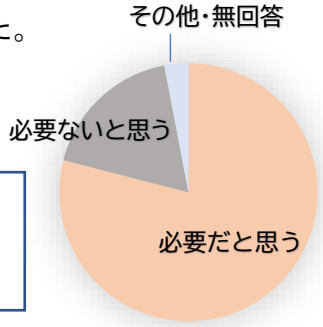
令和３年 区・自治会における女性の参画状況について

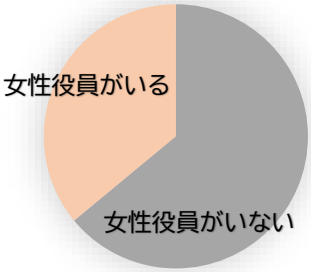
地域での各種活動等について、将来的に持続可能な地域社会の実現のため、女性役員登用についての現状調査を毎年行っています。調査は、単に女性役員が増えるという視点だけではなく、地域活動には多様な担い手が必要になることから、その一部を担う女性の参画を考える機会として捉えていただくよう実施しています。

令和３年の区・自治会における女性の参画状況について調査しました。
結果の一部を紹介します。



区・自治会に女性の役員が必要だと思う　７９％（令和２年８３％）

【理由】女性の立場や視点での意見が必要、高齢者などに細やかな対応ができる　など

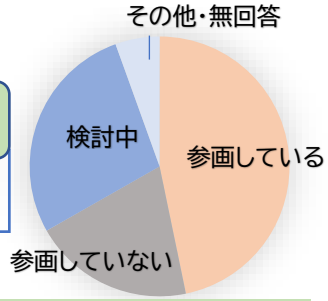


区・自治会に女性の役員がいる　３６％（令和２年３７％）

女性役員がいる　　３２区・自治会　／　９０区・自治会

【女性役員の人数】　６５人　（令和２年　６１人）

（三役（長、副、会計）, 区議会議員, 公民館長・主事）



区・自治会の防災組織に女性が参画している　４７％（令和２年度６２％）

４２区・自治会　／　９０区・自治会　　検討している　２５区・自治会

女性役員がいて良かったこと

- 女性の発想力や具体的な意見が、活動に活かされている。
- 女性は、細やかな配慮ができる。

女性役員が増えない理由

- 女性自身に役を受ける意識がない。
- 役員が毎年改選されるため、女性役員登用の意識が根付かない。

区・自治会に女性が参画しやすい環境づくりアイデア・取組の紹介

- 女性の意見を聞く場を設けている。
- 議会にアドバイザーとして参加してもらっている
- 隣組を通じて意見集約などを行っている
- 総会等に意見・要望を取り入れている。
- 会議に積極的に参加してもらっている。
- 投書箱を設置している。
- 改選時に呼び掛けをしている。
- 毎月行われる役員会の出席者は、半数が女性のため、男女問わず発言してもらうよう会議を進行している。

※「令和３年度　区・自治会における女性役員登用についての現況調査結果」抜粋

問合せ　生涯学習課家庭教育センター
電話 73-0888